

第6学年 音楽科 学習指導案

平成27年11月25日(水) 第5校時
場 所 音楽室

1 題材名 詩と音楽を味わおう

2 題材について

(1) 学習指導要領との関係

本題材は、主に学習指導要領A表現では、歌唱イ「歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。」 ウ「呼吸及び発音の仕方を工夫して、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌うこと。」 エ「各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。」に関連する。またB鑑賞では、ア「曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴くこと。」 イ「音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くこと。」 ウ「楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解すること。」に関連する。

(2) 題材に関わる児童の実態

(途中 略) 児童は歌うことの楽しさに加え、「歌は自分たちだけでなく聴いている人の心を感動させる」ということを実感し、充実感、達成感を味わうことができた。現在は、歌声が重なって生み出される様々な響きを感じ取ったり、和声の美しい響きを味わったりしながら、豊かな表現につながるような二部合唱に取り組んでいる。本題材では、様々な活動を通して、歌詞の意味を考えて気持ちを込めて表情豊かに歌ったり、美しいハーモニーをつくったりし、音楽の素晴らしさを体感させたい。

(3) 本題材における指導

本題材では、歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を感じ取りながら聴いたり、言葉のまとまりや語感を生かして歌ったりすることにより、日本語の美しさを味わうことをねらいとしている。

鑑賞活動では、滝廉太郎の代表的な歌曲を教材として取り上げ、いろいろな合唱形態による響きの違いを感じ取るとともに、「声の種類」「重なり」と「歌詞の内容」に焦点を当てることで、歌詞から情景を思い浮かべたり、音色や響きから情景を想像したりして、日本の歌曲の美しさを味わわせていく。

また、歌唱活動では、歌詞を朗読することで言葉のもつリズムや歌詞の内容を感じ取らせたり、言葉のまとまりを大切に、フレーズを意識しながら歌ったりすることによって、歌詞と旋律との結び付きを感じ取らせるようにする。さらに、歌唱共通教材「ふるさと」からは、言葉のもつリズムやアクセントを感じ取るとともに、古くから歌い継がれてきた日本の情景を思い浮かべながら歌うことで、歌詞と旋律が一体となって生み出される美しさを味わわせていく。

このような活動を通して、豊かな情操を養い、本校の研究主題「自ら学び、考え、表現できる児童の育成」に迫りたい。

3 題材の目標

- 歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を味わいながら聴いたり、思いや意図をもって歌ったりする。

4 教材

- 「思い出のメロディー」 (歌唱) 深田じゅんこ 作詞 / 橋本祥路 作曲
- 「花」 (鑑賞) 武島羽衣 作詞 / 滝 廉太郎 作曲
- 「箱根八里」 (鑑賞) 鳥居 枕 作詞 / 滝 廉太郎 作曲
- 「ふるさと」 (歌唱) 文部省唱歌 / 高野辰之 作詞 / 岡野貞一 作曲 / 浦田健次郎 編曲

5 本題材で取り扱う主な[共通事項]と学習活動とのかかわり

[共通事項]	ア	音色	リズム	旋律	音の重なり	強弱	フレーズ
学習活動				・旋律の重なりを感じて二部合唱する。		・言葉のまとまりや語感を生かした歌い方をする。	
				・歌詞の意味から想像した情景について、言葉や歌詞の意味と音楽を結び付けて聴き取る。			
				・主旋律以外の旋律の特徴をとらえて歌う。			
				・旋律の動きやフレーズを意識して、曲の山に向けて強弱を工夫した歌い方をする。			

6 題材の評価規準・評価計画 (6時間扱い)

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の評価規準	① 詩と音楽が一体となった曲想を味わい、五感を生かして歌う活動に主体的に取り組もうとしている。 ② 詩と音楽が一体となった日本の歌曲に関心をもち、合唱の響きを味わって聴く活動に主体的に取り組もうとしている。 ③ 歌詞の表わす情景や曲に込められた思いを感じ取りながら歌う活動に主体的に取り組もうとしている。	① 互いの歌声、旋律や音の重なりを聴き取り、言葉のまとまりや語感と旋律との関わりを感じ取って、歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ② 旋律の特徴や声の重なり合いを聴き取り、それらの働きと歌詞の表す情景や気持ちとの関わり合いを感じ取り、曲想を生かした表現の仕方を工夫し、どのように歌うかについて、自分の思いや意図をもっている。	① 言葉のまとまりや語感、重なり合う旋律の特徴を生かしながら、響きのある声で合唱している。 ② 互いの声を聴き合い自分の声を調和させながら合唱している。	① 日本の歌曲の詩や旋律の美しさ、合唱形態の違いが生み出すそれぞれのよさを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを味わいながら聴いている。
1	①			
2		①	①	
3	②			①
4	③			

5		②	
6			②

7 指導と評価の計画（6時間扱い）

	○学習内容・学習活動	○指導上の留意点	☆評価規準と評価方法
	<p><第1次> 曲想や曲に込められた思いを感じ取って、聴いたり歌ったりする。</p>		
1	<p>○「思い出のメロディー」の歌詞を朗読し言葉のリズムや内容を感じ取ったり、範唱を聴いて曲想をつかんだりして歌詞唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞を朗読し、言葉のリズムや歌詞の内容を感じ取る。 ・範唱を聴き、楽曲全体の感じをつかむ。 ・主な旋律を歌う。 <p>○言葉のまとまりに気を付けて主な旋律の特徴をとらえて歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉のまとまりを大切にし、フレーズを意識して主な旋律を歌う。 <p>○副次的な旋律の特徴をとらえて歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の声に合わせてパートを決める。 ・3段目以降を部分的に取り出して練習し、二部合唱の響きを感じ取る。 ・互いの声を聴き合いながら、柔らかな自然な声で歌う。 ・旋律の重なりを感じ取って二部合唱する 	<p>○“そよぐ風” “さざめく波” “白い風” “流れる歌”などの言葉から、歌詞の表す情景や気持ちを感じ取るようにする。</p> <p>○範唱を聴いたり楽譜を見たりして、気付いたことや感じたことを発表し合い、歌詞の表す内容や楽曲全体の感じのとらえ方を共有する。</p> <p>○弱起の部分で八分休符の後に歌い出すことや、後半の旋律の重なり合う響きなど、楽曲の特徴に気を付けて、丁寧に音を確かめながら歌うようにする。</p> <p>○言葉のまとまりを意識するために、八分休符を大切に歌うように伝える。</p> <p>○始めは、3段目以降を歌い、副次的な旋律の音を確かめてから通して歌うようにする。</p>	<p>☆ <音楽への関心・意欲・態度①> 詩と音楽が一体となった曲想を味わい、語感を生かして歌う活動に主体的に取り組もうとしている。 <発言内容・演奏聴取></p>
2	<p>○作曲者の思いを読み取り、言葉の繰り返しや強弱を工夫して、言葉のまとまりや語感を生かした二部合唱にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「言葉のくり返しと、その表現」を読み、“いつまでも” “忘れずに”の歌い方を工夫する。 ・どのように歌うか、自分の思いを書く。 ・互いに聴き合い、よさを認め合う。 ・作曲者の思いを読み取り、クラス全体で響きのある声で二部合唱する。 	<p>○言葉の繰り返しに込められた作曲者の思いを考え、強弱記号や旋律の音の上がり下がり注目し、歌い試しながら工夫するように伝える。</p> <p>○二部合唱の部分は、互いの声の重なりをよく聴き合って、歌うようにする。</p>	<p>☆ <音楽表現の創意工夫①> 互いの歌声、旋律や音の重なりを聴き取り、言葉のまとまりや語感と旋律との関わりを感じ取って、歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 <演奏聴取・発言内容・カード></p> <p>○クラス全体を2つに分けて、互いに聴き合うなどして、自分たちの表現が工夫されているか確認する。</p> <p>☆ <音楽表現の技能①> 言葉のまとまりや語感、重なり合う旋律の特徴を生かしながら、響きのある声で合唱している。 <演奏聴取></p>

	<p>○「花」「箱根八里」の2曲を聴く。 ・曲想の違いについてふれる。</p>	<p>○滝廉太郎について知る。曲の感じをつかむ。</p>
<p><第2次> 言葉と旋律の美しさを感じ取りながら、日本の歌曲を味わう。</p>		
<p>3 (本時)</p>	<p>○「花」「箱根八里」の二つの歌曲について、言葉と旋律が結び付いたよさを味わって聴く。 ・歌詞の情景を思い浮かべながら聴く。 ・感じたことを話し合う。</p> <p>○合唱の演奏形態の違いによる響きや曲想の違いに気付き、歌曲の魅力を感じ取りながら聴く。</p>	<p>○わかりにくい歌詞については、意味を知らせ、曲の歌詞をより理解できるようにする。 ○旋律やリズムの特徴、変化などに気付き、それを言葉で表すように促す。</p> <p>○「花」「箱根八里」の2曲の共通点を考え、話し合ったり発表したりする活動を通して、日本の歌曲のよさを見つげられるようにする。 (自然の豊かさ、日本の美しさ、人間が自然と関わっていることなど。)</p> <p>○女声合唱、男声合唱、混声合唱の響きやそこから醸し出される曲想の違い、よさに着目するようにし、幅広い表現を感じ取らせる。</p> <div data-bbox="667 801 1422 927" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆ <音楽への関心・意欲・態度②> 詩と音楽が一体となった日本の歌曲に関心をもち、合唱の響きを味わって聴く活動に主体的に取り組もうとしている。 <行動観察・発現内容></p> </div> <div data-bbox="667 949 1422 1093" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆ <鑑賞の能力①> 日本の歌曲の詩や旋律の美しさ、合唱形態の違いが生み出すそれぞれのよさを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを味わいながら聴いている。 <行動観察・発言内容・カード></p> </div>
<p><第3次> 歌詞の内容を理解して、曲想を味わいながら歌う。</p>		
<p>4</p>	<p>○「ふるさと」の楽曲全体の感じをつかんで、歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら主な旋律を歌う。 ・範唱を聴き、楽曲全体の感じをつかむ。 ・歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら主な旋律を歌う。 ・旋律の動きやフレーズを意識して、曲の山を感じ取って歌い方を工夫する。</p> <p>○副次的な旋律の特徴をとらえて歌う。 ・主な旋律以外の旋律の特徴をとらえる。 ・二部合唱の部分と三部合唱の部分の音を取りながら歌う。 ・正しい音程で歌えるようになったら、部分的に合唱する。 ・自分の声に合わせて、パートを決める。</p>	<p>○多くの人々に長く歌い継がれてきた理由を考えながら聴くようにする。 ○難しい言葉の意味を説明し、歌詞の表す情景を想像しやすくする。 ○3段目のリズム、4段目の曲の山を意識しながら範唱に合わせて歌うようにする。 ○和声的に重なる部分、追いかけて重なる部分を取り出し特に三つの声部が重なっている部分を確認する。 ○4段目の出だしの音など、音程のとりにくいところは、取り出して練習する。</p> <div data-bbox="667 1570 1422 1695" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆ <音楽への関心・意欲・態度③> 歌詞の表す情景や曲に込められた思いを感じ取りながら歌う活動に主体的に取り組もうとしている。 <演奏観察・演奏聴取></p> </div>

5	<p>○歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫して、三部合唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ練習をする。 ・旋律の動きやフレーズを意識して、曲の山に向けて強弱などの歌い方を工夫する。 ・どのように歌うかについて、自分の考えを書く。 	<p>○クラスを2～3グループに分けて、グループで演奏の工夫ができるようにする。</p> <p>○3段目までの二部合唱ができるようになってから4段目の三部合唱に取り組むようにする。</p> <p>○旋律の動きのある3段目と曲の山である4段目の強弱の工夫など、歌い方の工夫を考えるように伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆ <音楽表現の創意工夫②> 旋律の特徴や声の重なり合いを聴き取り、それらの働きと歌詞の表す情景や気持ちとの関わり合いを感じ取り、曲想を生かした表現の仕方を工夫し、どのように歌うかについて、自分の思いや意図をもっている。 <演奏聴取・発言内容・カード></p> </div>
6	<p>○重なり合う響きを感じながら曲想を生かして、三部合唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強弱などの歌い方を工夫し、曲想を生かして、三部合唱する。 ・自分たちの表現について発表し、工夫が生かされたかを互いに聴き合い、感想を交流する。 ・学習カードに振り返りを記述する。 ・曲想を味わいながら、全員で三部合唱する。 	<p>○グループ練習のときは、副次的な旋律の音程を正しくとれるように、鍵盤楽器で補助する。</p> <p>○互いの響きを感じながら三部合唱をする。</p> <p>○自分たちの歌声を録音して聴くなどして、振り返ることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆ <音楽表現の技能②> 互いの声を聴き合い、自分の声を調和させながら合唱している。 <演奏聴取></p> </div>

8 本時の学習指導 (第2次 3/6時)

(1) 本時の目標

- 詩と音楽が一体となった日本の歌曲に関心をもち、合唱の響きを味わって聴く活動に主体的に取り組むようにする。(音楽への関心・意欲・態度)
- 日本の歌曲の詩や旋律の美しさ、合唱形態の違いが生み出すそれぞれのよさを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを味わいながら聴く。(鑑賞の能力)

(2) 展開

学 習 活 動	C予想される児童の反応	○指導上の留意点 ※評価 ☆[共通事項]	時間
1 既習曲「思い出のメロディー」を歌う。		○自然で無理のない声で歌うようにする。	3'
2 本時の課題をつかむ。			2'
3 「花」の歌詞の大意から、情景を想像しながら聴く。 (1)歌詞を読み、わかりにくい言葉や時代背景などを知る。 (2)歌詞と旋律の結びつきについて感じ取る。 ・カードに記入する。 C「やさしい、やわらかい感じ」	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 曲の感じや合唱の響きのちがいなどに気をつけながら、「花」と「箱根八里」を聴き比べてみよう。 </div>	<p>○2曲とも大きく書いた歌詞を黒板に掲示し、それを見ながら進めていく。</p> <p>○歌詞の意味を伝えることにより、わかりにくい言葉でも児童が抵抗なく、曲を自然と受け入れられるようにする。</p> <p>○歌詞に音楽が加わるとどうなるのか、歌詞と旋律がどのように結び付いているかをアドバイスする。</p> <p>○聴く観点を示す。</p>	14'

<p>川や木、月といった日本の自然の美しさを流れるような旋律で表している」 「曲の山は高い音になっている」 「声と歌詞が合っていた」 「女の人の高い声が重なって聴こえた」 「歌声とピアノがひとつになっていた」</p> <p>(3) 友達の発表を聞き、演奏の中から見つけたり、確かめたりする。</p> <p>4 「箱根八里」の歌詞の意味を知り、情景を想像しながら聴く。</p> <p>(1) 歌詞を読み、わかりにくい言葉や時代背景などを知る。</p> <p>C 「八里」「天下の険、万丈の山、千仞の谷 武士(ものゝふ)」 「言葉がむずかしいなあ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「箱根の山」の印象を確かめる。 「険しい」 「道がくねくねしている(バスに乗っていると酔いそうになる)」 「大きさ、高さを感じる」 「歴史がある」 <p>(2) 歌詞と旋律の結びつきについて感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードに記入する。 <p>C 「こまかいリズムが多い」 「険しい箱根の山の様子を付点のリズムで力強く歌っている」 「旋律の音が高くなっていくときはクレッシェンド<、音が低くなっていくときはデクレッシェンド>となっていて、山のような」 「声と歌詞が合っていた」 「1番は、男の人の声が重なって聴こえた」 「ピアノ伴奏がなく、ア・カペラ演奏だった」</p> <p>(3) 友達の発表を聞き、演奏の中から見付けたり、確かめたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の感じ・音色、リズム、旋律、音の重なり ・合唱の響きの違い…声の種類、重なり、響き <p>☆[共通事項] 音色、リズム、旋律、音の重なり</p> <p>○なかなか書けない児童には、歌詞の中で好きな言葉や気になった言葉を見つけさせたり、もう一度聴く観点をわかりやすく伝えたりし、そこから広げていくようにさせる。</p> <p>○女声二部合唱(ソプラノ、アルト)であることを知らせる。</p> <p>○「箱根八里」は、当時、1番が「昔の箱根」、2番が「今の箱根」と題されていたことなどにもふれる。</p> <p>【言語活動の充実】</p> <p>○「箱根の山」についての情報を子供たちに伝え、それを聞いた「箱根の山」の印象を子供から出た言葉のまま掲示しておくことにより、イメージをより広げられるようにする。</p> <p>○聴く観点を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲の感じ・音色、リズム、旋律、音の重なり ・合唱の響きの違い…声の種類、重なり、響き <p>☆[共通事項] 音色、リズム、旋律、音の重なり</p> <p>○1番は、男声四部合唱(第1テノール、第2テノール、バリトン、バス)であることを知らせる。</p> <p>【言語活動の充実】</p> <p>○様々な感じ方を共有し合い、人によって感じ方も様々であることに気付かせる。</p> <p>○自分が感じたこともその中の一つであり、どんな小さなことでも自分は大切なものを見つかったのだという気持ちをもたせ、称賛する。</p> <p>※詩と音楽が一体となった日本の歌曲に関心をもち、合唱の響きを味わって聴く活動に主体的に取り組もうとしている。 (ア 音楽への関心・意欲・態度 ②) <観察、発言、つぶやき></p>	<p>14'</p>
---	--	------------

<p>5 「花」や「箱根八里」を聴き比べたことにより気付いたことを伝え合う。</p> <p>(1) 2曲の違いや、似ている点を見付ける。</p> <p>C「リズムが共通しているところがあったが、言葉と旋律が結び付くと、曲によってまったく違う印象になる」 「2曲とも歌詞と旋律が合っていた」</p> <p>(2) 大人の声の特徴を知り、いろいろな合唱形態を知る。</p> <p>「花」… 1、2、3番 女声二部合唱 「箱根八里」… 1番 男声四部合唱 2番 混声四部合唱</p> <p>(3) 日本の歌曲の詩や旋律の美しさや合唱形態の違いを演奏の中から見つけたり、確かめたりする。</p>	<p>○聴き深めるために、互いに感じたことを伝え合う。「花」も「箱根八里」も自然の豊かさ、日本の美しさ、人間が自然と関わっていることなどを感じ取り、日本の歌曲の詩や旋律の美しさを見付けられるようにする。</p> <p>○いろいろな合唱形態があり、それぞれによさがあることを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女声二部合唱 ・男声四部合唱 ・混声四部合唱(ソプラノ、アルト、テノール、バス) <p>○歌詞の内容から、強弱や声の感じなど、曲想に合う歌い方を工夫していることにも気付かせる。</p> <p>○声が重なり合ったときの美しさを感じ取りながら聴くようにさせる。</p> <p>※日本の歌曲の詩や旋律の美しさ、合唱形態の違いが生み出すそれぞれのよさを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを味わいながら聴いている。</p> <p>(エ 鑑賞の能力 ①) <聴いている様子、つぶやき、学習カード></p>	<p>10'</p>
<p>6 本時のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価をする。 ・感想発表をする。 ・次の課題をとらえる。 	<p>○本時の活動のよさを称賛し、次時の課題を伝える。</p>	<p>2'</p>

(3) 板書計画

曲の感じや合唱の響きのちがいに気をつけながら、「花」と「箱根八里」を聴き比べてみよう。

聴くポイント

♪花

やさしい やわらかい
なめらか

自然の美しさを流れるような
旋律で表している
曲の山は高い音

スキップしているよう

女性の声の合唱
歌詞と音楽が合っている

桜が満開、散っている
輝いている
春の川、柳の木

「花」の歌詞

♪箱根八里

力強い
元気がよい

旋律の音が高くなっていくときは<、音が低くなっていくときは>になっている

険しい箱根の山の様子を付点のリズムで力強く歌っている

男性の声の合唱、男性と女性の声が混ざった合唱
歌詞と音楽が合っている

箱根の険しい山
山の中にいる武士

「箱根八里」
の歌詞

女声二部（三部）合唱

ソプラノ (メゾソプラノ) アルト

男声四部合唱

第1テノール 第2テノール バリトン バス

混声四部合唱

ソプラノ アルト テノール バス